

履修コード/科目名称	195811 / 健康・スポーツ実習		
開講年度	2018年	開講曜日・時限	金・1
担当教員氏名(カナ)	岩本 哲也 (イワモト テツヤ)		
副担当教員氏名(カナ)	久木 直哉 (キウキ ナオヤ) 竹田 幸夫 (タケダ ユキオ) 平田 大輔 (ヒラタ ダイスケ) 柳 浩二郎 (ヤナギ コウジロウ) 山口 良博 (ヤマグチ ヨシヒロ)		

履修コード/科目名称	195811 / 健康・スポーツ実習 (屋外球技)		
開講年度	2018年	開講曜日・時限	金・1
担当教員氏名(カナ)	岩本 哲也 (イワモト テツヤ)		

授業概要	球技スポーツを教材とし、各種目を楽しむための基本技術やルールを学び、各種目の理解を深める。		
到達目標(ねらい)	ゲームを通じて健康・体力を維持し、豊かな人間関係づくりを目的とする。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業内容の説明	
	第2回	サッカー:基本技術、ゲーム	
	第3回	サッカー:基本技術の応用、ゲーム	
	第4回	サッカー:ゲームの進め方、ゲーム	
	第5回	サッカー:ゲームの攻め方・守り方、ゲーム	
	第6回	サッカー:ゲーム(リーグ戦1)	
	第7回	サッカー:ゲーム(リーグ戦2)	
	第8回	サッカー:ゲーム(リーグ戦3)	
	第9回	ソフトボール:キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム	
	第10回	ソフトボール:シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム	
	第11回	ソフトボール:総合練習、ゲーム	
	第12回	ソフトボール:総合練習、ゲーム	
	第13回	ソフトボール:ゲーム(リーグ戦1)	
	第14回	ソフトボール:ゲーム(リーグ戦2)	
	第15回	ソフトボール:ゲーム(リーグ戦3)	
準備学習	特になし。		
履修上の留意点等	服装:一般的な運動服とする。 シューズ:必ず運動靴もしくは、固定式スパイクを用意すること(取替え式スパイクは不可)。 装飾品:アクセサリ類や時計は安全確保の為、装着不可とする。		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	総合評価(積極性・協調性・授業態度など)	
	評価は、平常点70点、実技点30点とする。実技点は、リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人の実技テストは行わない。		
教科書/テキスト	特になし。		
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業内容・方法のベースは崩さずに、更に良い授業が行えるように臨機応変に対応していく。		
関連リンク			

履修コード/科目名称	195811 / 健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)		
開講年度	2018年	開講曜日・時限	金・1
担当教員氏名(カナ)	久木 直哉 (キウウキ ナオヤ)		

授業概要	「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。		
到達目標(ねらい)	健康体操については、ストレッチ体操を実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび(バック転)の習得をめざす。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業目標の説明	
	第2回	健康体操とストレッチ体操	
	第3回	健康体操とストレッチ体操	
	第4回	ストレッチ体操、マット、トランポリン	
	第5回	ストレッチ体操、マット、トランポリン	
	第6回	ストレッチ体操、マット、トランポリン	
	第7回	男子あん馬、女子平均台、トランポリン	
	第8回	男子あん馬、女子平均台、トランポリン	
	第9回	男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン	
	第10回	鉄棒、トランポリン	
	第11回	発展技の練習、自主練習	
	第12回	発展技の練習、自主練習	
	第13回	発展技の練習、自主練習	
	第14回	発展技の練習、自主練習	
	第15回	まとめと評価	
準備学習	特になし		
履修上の留意点等	服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	総合評価	
	男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。		
教科書/テキスト			
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	個々に目標技を設定し練習を行い、技が出来た時の達成感を味わう。		
関連リンク			

履修コード/科目名称	195811 / 健康・スポーツ実習 (ゴルフ)		
開講年度	2018年	開講曜日・時限	金・1
担当教員氏名(カナ)	竹田 幸夫 (タケダ ユキオ)		

授業概要	本授業では、ゴルフの基本技術の実技を通じてゴルフというスポーツの楽しみ方を学習するとともに基礎理論の理解を深めていく。毎回、異なった課題をこなしていくので、休まずに受講してほしい。		
到達目標(ねらい)	大学生の年代は、将来のスポーツライフの基礎をつくる時期である。ゴルフは、世代や性別を問わずに多くの人々に親しまれている生涯スポーツの一つである。授業においては、ゴルフに関する基礎知識や技術、マナーなどを理解し、基本技術の実技を通して、ゴルフを生涯楽しむことのできるための基礎を築くことをねらいとする。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション	
	第2回	ゴルフの基本(グリップ・スタンス・アドレス・スイング)	
	第3回	打撃練習(ピッチングウェッジ・9番アイアン)	
	第4回	打撃練習(ピッチングウェッジ・9番アイアン)	
	第5回	打撃練習(7番アイアン)	
	第6回	打撃練習(7番アイアン)	
	第7回	打撃練習(9番アイアン・7番アイアン・1ウッド)	
	第8回	打撃練習(9番アイアン・7番アイアン・1ウッド)	
	第9回	パッティング(クラブの解説)	
	第10回	打撃練習(アプローチショット)	
	第11回	パッティング(コースの解説)	
	第12回	打撃練習(アプローチショット)	
	第13回	模擬コースのラウンドプレー(マナー・エチケットの解説)	
	第14回	模擬コースのラウンドプレー(マナー・エチケットの解説)	
	第15回	理解度の確認	
準備学習	テレビ等で放映されるゴルフの試合を観戦し、技術やマナーを学習してほしい。		
履修上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○服装は、運動に適したスポーツウェア、シューズとする。</li> <li>○ゴルフ用グローブを各自用意すること。</li> <li>○雨天及び強風時には、教場を変更することがあるので、掲示板を確認すること。</li> </ul>		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	実技点	
	授業に出席して毎回実技を実践することが重要であり、成績評価のうち平常点を70%とする。実技については、技術習得度、積極性、受講態度等を総合的に評価(30%)する。		
教科書/テキスト	とくになし		
参考書	とくになし		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	今年度よりこの授業を担当するので、前年度の授業アンケートの結果はない。ゴルフというスポーツは、技術習得に時間を要する種目なので、学習効果が上がるように授業展開を工夫していくつもりです。		
関連リンク			

履修コード/科目名称	195811 / 健康・スポーツ実習 (テニス)		
開講年度	2018年	開講曜日・時限	金・1
担当教員氏名(カナ)	平田 大輔 (ヒラタ ダイスケ)		

授業概要	生涯スポーツとして多くの人がプレーを楽しんでいるテニスを通して体力の維持・増進を目指す。そのためテニスの基本技術を習得し、面白さやコミュニケーションを経験し、生涯スポーツとして楽しめるような技術を身につけられるようにする。		
到達目標(ねらい)	テニスのグラウンドストローク、ボレー、サーブといった技術だけに留まらず、マナー、ルールを学び、コミュニケーション力を身につけられるようにする。また、今後の学生生活が有意義になるような仲間作りが出来ることを目指す。経験者は、いままでの技術をさらに向上させ、試合に活かせるようになってもらう。さらに未経験者に対してアドバイスができるようになってもらいたい。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業目標の説明	
	第2回	ラケットワーク、ラケット・ボールに慣れる	
	第3回	ストロークの基本技術 I	
	第4回	ストロークの基本技術 II	
	第5回	ボレーの基本技術	
	第6回	スマッシュ、サーブの基本技術	
	第7回	応用技術 I (試合で使える技術をマスター)	
	第8回	応用技術 II	
	第9回	シングルスゲーム	
	第10回	ダブルスのルール戦術	
	第11回	ダブルスゲーム I	
	第12回	ダブルスゲーム II	
	第13回	団体戦 I (シングルス、ダブルス)	
	第14回	団体戦 II (シングルス、ダブルス)	
	第15回	理解度の確認	
準備学習	体育実技なので、体調をしっかりと整えて、授業を受講出来るようにすること。		
履修上の留意点	<p>① 履修者の技術レベルは問わない          ② 服装は運動着とする。できればテニスシューズを準備すること。          ③ ラケットは貸与する。</p> <p>雨天の場合は、テニスに関する知識を深めるため、映像などを使用して講義を行う。もしくは、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である。</p>		
成績評価の方法	80%	平常点	
	20%	出席	
平常点(授業参加態度、運動参加状況)技術習熟度などから総合的に評価する。			
教科書/テキスト			
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	昨年度の学生による授業アンケートの結果において、「この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。」という設問の本講義の平均が全体の平均を下回っていたので、本年度は「学生に合わせた授業の進み方を考える」ような授業展開に努めます。		
関連リンク			

履修コード/科目名称	195811 / 健康・スポーツ実習 (卓球)		
開講年度	2018年	開講曜日・時限	金・1
担当教員氏名(カナ)	柳 浩二郎 (ヤナギ コウジロウ)		

授業概要	生涯にわたってゲームを楽しむために必要とされる基本的な技術や戦術を習得し、シングル・ダブルスのゲームを行う。		
到達目標(ねらい)	卓球の基本技術や戦術、ルールを理解して、身体運動の実践を通して動くことの楽しさ、仲間と協調してゲームを楽しむことを知ることが大きなねらいである。また、卓球は、手軽に実践できるスポーツであり、生涯スポーツにも適している。授業における実技を毎回実践することにより、生涯スポーツを実践する習慣の基盤をつくりたい。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業目標の説明	
	第2回	ラケットの説明、フォアハンドの基本技術、ミニゲーム	
	第3回	バックハンドの基本技術、ミニゲーム	
	第4回	ルール及びゲーム展開の仕方の説明、サーブの基本技術	
	第5回	シングルスゲーム	
	第6回	シングルスゲーム	
	第7回	シングルスゲーム	
	第8回	シングルスゲーム	
	第9回	シングルスゲームの説明、ゲーム	
	第10回	ダブルスゲーム	
	第11回	ダブルスゲーム	
	第12回	ダブルスゲーム	
	第13回	ダブルスゲーム	
	第14回	トーナメント試合	
	第15回	トーナメント試合	
準備学習	特になし		
履修上の留意点等	服装は、一般的なスポーツウェアとする。室内用のシューズを用意すること。		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	実技	
	講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%で評価を行う。		
教科書/テキスト			
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について			
関連リンク			

履修コード/科目名称	195811 / 健康・スポーツ実習 (屋内球技)		
開講年度	2018年	開講曜日・時限	金・1
担当教員氏名 (カナ)	山口 良博 (ヤマグチ ヨシヒロ)		

授業概要	バスケットボール、バレーボール、バドミントンを中心に、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールについて学ぶ。		
到達目標 (ねらい)	各種目での技術上達はもとより、ゲーム等をとおして協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業内容の説明	
	第2回	バドミントン:基礎練習(ハイクリア、サービス)	
	第3回	バドミントン:基礎練習(ドライブ)、ゲーム	
	第4回	バドミントン:基礎練習(ヘアピン)、ゲーム	
	第5回	バドミントン:応用練習、リーグ戦	
	第6回	バレーボール:基礎練習(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス)	
	第7回	バレーボール:基礎練習(サーブ)、ゲーム	
	第8回	バレーボール:基礎練習(スパイク)、ゲーム	
	第9回	バレーボール:応用練習、リーグ戦	
	第10回	バスケットボール:基礎練習(パス、シュート)	
	第11回	バスケットボール:基礎練習(ドリブル)、ゲーム	
	第12回	バスケットボール:基礎練習(1on1)、ゲーム	
	第13回	バスケットボール:応用練習、リーグ戦	
	第14回	受講者と相談のうえ種目を決定(基礎練習、ゲーム)	
	第15回	受講者と相談のうえ種目を決定(基礎練習、ゲーム)	
準備学習	各種目における基本的なルールを学習しておくこと。		
履修上の留意点等	スポーツウェア(上下)、体育館シューズの着用を厳守すること。		
成績評価の方法	80%	平常点	
	20%	総合評価(積極性・協調性・授業態度など)	
	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。		
教科書/テキスト			
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	昨年度「学生による授業アンケート」において、「授業に熱心に取り組めた」項目が高評価であった。今年度も学生の運動欲求を満たせるような授業展開を心がけたい。		
関連リンク			